

# 駅からお散歩マップ

## おぎくぼ北エリア

昭和レトロな散歩道



- start 荻窪駅北口
- 1 商店街
- 2 荻窪銀座
- 3 八幡神社
- 4 天沼
- 5 分館
- 6 郷土博物館
- 7 天沼教会
- 8 セブンイレブン
- 9 アドベンスター
- 10 教会通り
- 11 商店街
- 12 白山通り
- 13 光明院
- goal 荻窪駅北口

歩きながら、元気と文化が、すぎなみ生まれる街。

# 駅からお散歩 マップ おぎくほ北エリア

約1.0時間  
(2.5km)



## 荻窪銀座商店街

## 荻窪寿通り商店街

## 昭和レトロな散歩道

荻窪駅の北口には、ルミネやタウンセブンといった大型商業施設の他にも路地を曲がると多くの商店街が点在しています。

## 天沼八幡通り商店街

昭和の初めごろ荻窪駅北口の周辺には、荻窪風土記で有名な「井伏鱒二」を中心に太宰治や上林暁といった多くの作家が移り住んできました。駅周辺には昔からの商店街が残っていて、狭い裏路地に沢山の飲食店がひしめき、夜になり提灯に火が入るころには独特の空気を醸し出しています。また、青梅街道をわたると趣の異なる商店街があり、まるで昭和時代にタイムスリップしたかのように感じます。

素敵なお店がいっぱい！  
探検してみよう

## 天沼八幡神社

旧天沼村字中谷戸の鎮守で天正年間(1573-1591)の創建と伝えられています。境内には、大鳥神社がある関係で、11月には、酉の市(熊手市)が開かれ多くの人を訪ねます。戦前この周辺には、軍の施設があった関係で軍人が多く住んでいました。その奥さんや娘さんたちが荻窪駅から汽車に乗って、テパートや観劇に出かけるので天沼八幡通りは、「美人通り」といわれたそうです。

## 天沼弁天池公園

昔、地下水が湧く天沼弁天池といわれる池があり、桃園川の水源のひとつでした。池には、小さな島があり、弁天様が祀られ、日照りのときには雨ごいが行われていたと伝えられています。昭和35年ごろまではスイレンなどが咲き、魚が泳ぐ池でしたが周辺の都市化の進行とともに池は涸れてしまい埋め立てられました。平成19年に杉並区が公園として整備しましたが、現在の池は公園になる以前人工的に作られた池を残したもので、井戸水を利用しています。また、池にあった祠は元の池を埋め立てた際、現在の位置に移され、地域をやさしく見守っています。

## セブンスター・アドベンチスト天沼教会

セブンスター・アドベンチスト天沼教会は、大正6年に設立され武蔵野の雑木林に建つ教会や宣教師の宿舎などの洋館は近隣のシンボルともなっているとされています。現在の教会は、昭和58年に建てたものです。同じ敷地内に東京衛生病院を有し、かの文豪井伏鱒二が散歩の途中によく立ち寄った教会として有名です。毎週土曜日には礼拝があり、多くの人を訪ねます。

## 教会通り商店街

## 白山通り商店街

天沼教会から少し歩くとにぎやかな商店街に入っていきます。昔ながらの八百屋さんやお肉屋さん、クリーニング屋さんの中には、モダンなカフェなどが点在してレトロでモダンな趣を醸しています。青梅街道の横断歩道を渡ると一転してビルに囲まれたにぎやかな駅前商店街になります。商店街をぶらぶら歩いて行くと旧下荻窪村の鎮守で歯の神様として知られている荻窪白山神社の前に出ます。

## 光明院

寺の縁起によると、和銅元年(708年)行者が千手観音を背負ってこの近くを通ると、不思議にも仏像が重くなり、歩くことが出来なくなりました。行者は、仏像がこの地に縁があると思い仏像を安置し草堂を荻堂(荻寺)と名付けました。それ以来このあたり一帯を荻窪と称したといわれています。お寺には、荻の小径という遊歩道があり四季折々の草花が咲いています。

